

YAMAHA

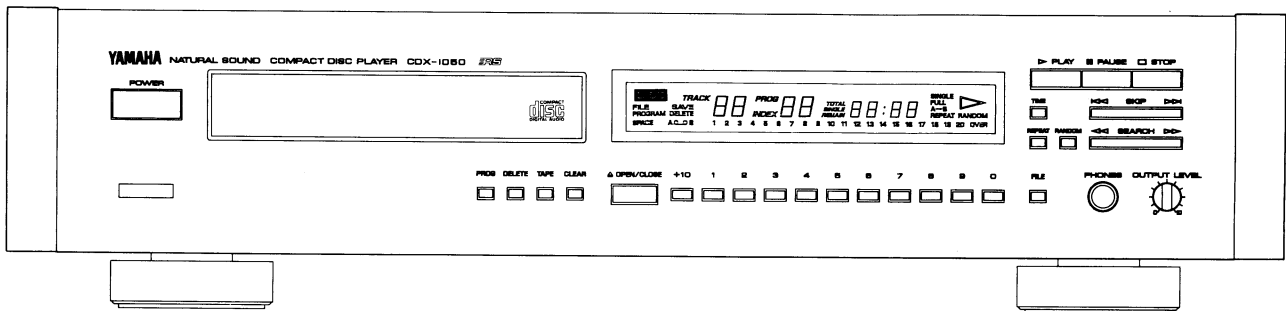
NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

CDX-1050



取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCDX-1050をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-1050の優れた性能を充分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読み下さいませよう、お願い致します。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

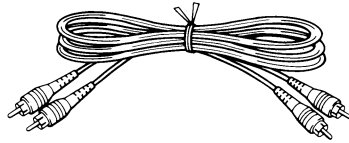
目次

ご使用前に	2
豊かなオーディオライフのために	2
特長	2
接続のしかた	3
各部の名称とはたらき	4
基本的な演奏	
一曲目から聞きたいときは	6
好きな曲から聞きたいときは	7
曲を順不同に聞きたいときは	7
いろいろな演奏	
曲を飛ばして聞きたいときは	8
好きな曲を好きな順に聞きたいときは	9
プログラムのチェック・変更・追加	10
プログラムの保存について	11
インデックスから聞きたいときは	12
繰り返して聞きたいときは	13
指定した時間に聞きたいときは	13
テープ録音	
本機が自動選曲して録音するときは	14
自分で選曲して録音するときは	15
オートスペースについて	15
コンパクトディスクの取り扱いについて	16
リモコンについて	16
故障かなと思ったら	17
参考仕様	18
ヤマハホットラインサービスネットワーク	19

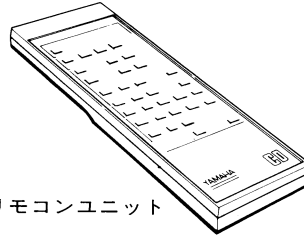
ご使用前に必ずお読みください。

ご使用の前に

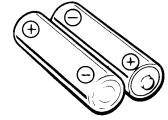
■付属品を確認してください



出力コード (デジタル・アナログ兼用1P)
ピンプラグコード×2



リモコンユニット



単4乾電池 (SUM-4) 2本

豊かなオーディオライフのために (使用上のご注意)

■電 源

国内のみでご使用ください。
家庭用電源コンセント (AC 100 V) に接続してください。
※上記以外の使用は動作不良や故障の原因になります。

■電源コード

電源コードをひっぱらないでください。(プラグを持って抜いてください)

電源コードの上に重い物をのせないでください。
※電源コードが断線したり、感電の原因になります。

■本 体

キャビネットは開けないでください。
本体内に金属類 (針・硬貨など) を落とさないでください。本体内部に液体 (水・アルコールなど) をこぼさないでください。
本体内部にもえやすい物 (紙・布など) を落とさないでください。
※火災・感電・故障の原因になります。

■設置場所

ぐらついた台の上や、傾いた所には置かないでください。
※落ちたり倒れたりすると危険です。
湿気の多い所、ほこりの多い所、直射日光のあたる所、熱の発生するアンプの上など温度の高い所、極端に寒い所には置かないでください。
※動作不良や故障の原因になります。

■雑 音

本機を再生中はチューナーから雑音が出たり、テレビの画面が乱れたりすることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チューナーやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

■結 露

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置してある部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。
露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1~2時間そのままに放置してからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

■長期間

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
※不慮の事故で火災の原因になります。

高温・低温はさけて! 窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)は、さけてください。 	セットの放熱を妨げない 放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には設置しないでください。 	ほこり・水気をさけて! ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上には、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。 	
開けないで! 	国内のみ使用可 家庭用電源コンセント AC100V 	こわれた? 15ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。 	薬物厳禁 ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

特 長

- ヤマハオリジナルDAC使用による高音質設計
- アナログ音声2系統(固定出力、可変出力)、デジタル音声2系統(オプチカルと同軸)の出力端子を装備
- 便利なプログラムのセーブ(保存)機能
- ジャイアントレグとピンポイントレグの切換で音質選択が可能
- リモコンを装備

接続のしかた

●接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を確認して正しく接続してください。

●接続する機器によっては、端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

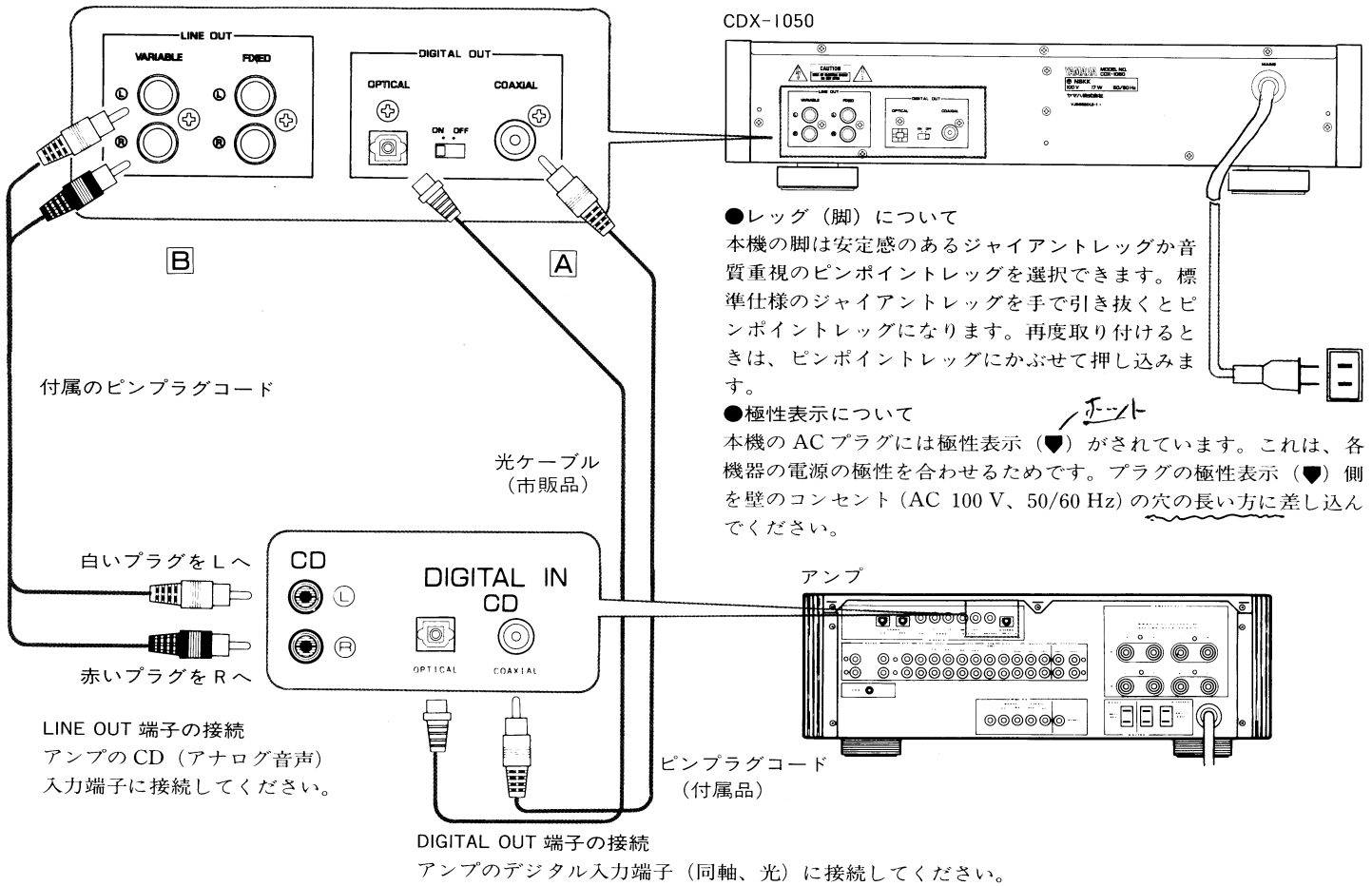
接続するアンプにより接続方法は異なります。

A デジタル入力 (同軸、光) 端子付きのアンプと接続する場合

- ※ DIGITAL OUT ON OFF スイッチは必ず ON にしてください。
- ※ OPTICAL 端子を使用するときは、端子カバーを手で摘んで手前に引抜きます。

B アナログ音声入力端子のみを持つアンプと接続する場合

- ※接続する端子の種類を選びます
- VARIABLE端子：可変出力
- FIXED端子：固定出力



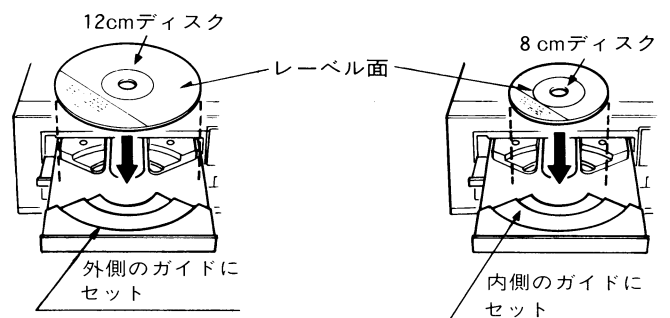
※本機の DIGITAL OUT OPTICAL (光出力) 端子は、EIAJ 規格にもとづき設計されています。接続する光ケーブルは EIAJ 規格を満たさないものをご使用になりますと正常に動作しないことがあります。

ディスクのセット

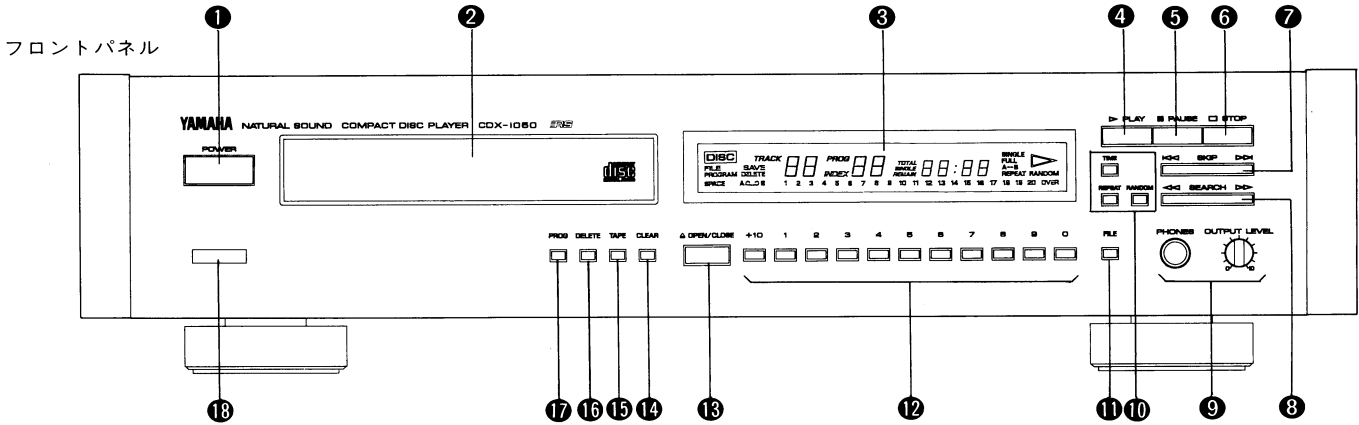
コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクトレイの中央に正しくセットしてください。(8 cm ディスクは 8 cm ディスク用ガイドの中にセットします)

- * コンパクトディスクの演奏は片面のみです。
- * ディスクトレイにセットできるディスクは 1 枚だけです。複数のディスクをセットしますと、故障の原因となります。

・市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



各部の名称とはたらき

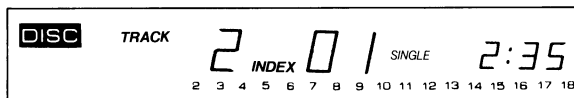


- フロントパネル
- ① **POWER** スイッチ
押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
 - ② **ディスクトレイ**
ディスクをセットするところです。[OPEN/CLOSE] を押すと開き、もう一度押すと閉まります。
ディスクトレイは手で軽く押しでも、[PLAY]、[PAUSE] や [RANDOM] または10キー(数字キー)を押しても閉じることができます。
 - ③ **ディスプレイ**
5 ページ参照。
 - ④ **プレイ**
押すと演奏がスタートします。
 - ⑤ **ポーズ**
演奏中にこのキーを押しますとその箇所までポーズ(一時停止)します。もう一度押すと演奏を再開します。
 - ⑥ **ストップ**
押すと演奏が停止します。
 - ⑦ **スキップ**
SKIP
前後の曲の頭出しをするキーです。
プログラムのセット中またはチェック中はプログラム番号を呼び出すことができます。
 - ⑧ **サーチ**
SEARCH
演奏中またはポーズ中に早送りや早戻しをするキーです。
押し続けると高速で早送りまたは早戻しします。
 - ⑨ **ホーン** ジャック, **アウツプットレベル** コントロール
ヘッドホンをこのジャックに接続しますと、本機から直接演奏を聞くことができます。つまみを時計方向に廻すとヘッドホンや LINE OUT VARIABLE 端子からの音量が大きくなり、反時計方向に廻しますと小さくなります。
※DIGITAL OUT 端子やLINE OUT FIXED 端子の出力は固定です。
 - ⑩ **タイム**
TIME
このキーを押すごとにディスプレイの時間表示の内容が切り換わります。
リピート REPEAT
リピート(繰り返し)演奏をするときに押します。
ランダム RANDOM
ランダム演奏やテープランダムプログラムの設定をするときに押します。
 - ⑪ **ファイル** FILE
一度設定したプログラムを保存(SAVE)したり、ファイルプレイモード(保存プログラムの呼び出し)にするときに使います。
 - ⑫ **10キー(+10, 1~0)**
選曲やプログラムのセット時に曲番を指定するキーです。
リモコンには+20, +30 キーが付きます。
 - ⑬ **オープン/クローズ** OPEN/CLOSE
ディスクトレイを開閉させるキーです。
 - ⑭ **クリア** CLEAR
プログラムを解除するときに使います。

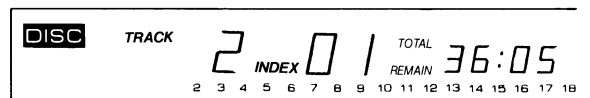
ディスプレイについて

[TIME] を押すごとに、表示の内容が変わります。

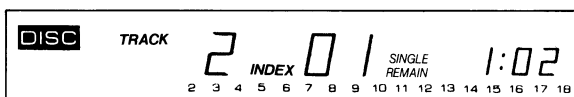
SINGLE 例 2曲目を演奏中、2分35秒経過



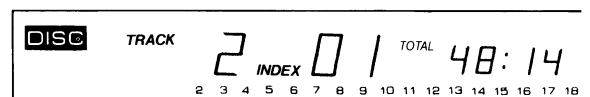
TOTAL REMAIN 例 2曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の演奏残り時間は36分05秒

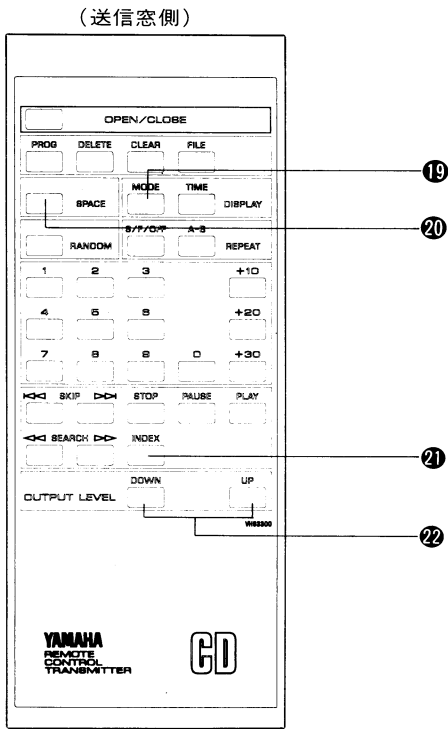


SINGLE REMAIN 例 2曲目の演奏終了まで、あと1分2秒



TOTAL 例 2曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は48分14秒





(リモコン) ※番号のないキーは本体と同じ働きをします。

- 15 **テープ TAPE**
デリートプログラムやテープオートプログラムの設定のときに使います。
- 16 **デリート DELETE**
デリートプログラムの設定のときに使います。
- 17 **プログラム PROG**
プログラム演奏の設定やチェックするときに使います。
- 18 **リモートコントロール REMOTE CONTROL 受光窓**
付属のリモコンからの信号を受光する窓です。
- 19 **ディスプレイモード DISPLAY MODE**
LCDディスプレイの表示モードを、全灯もしくはTRACKNOと時間表示のみに切り換えます。
- 20 **スペース SPACE**
曲間に4秒間のスペースを入れます。
- 21 **インデックス INDEX**
インデックスを呼び出すときに押します。
- 22 **アップ/ダウン UP, DOWN**
本体のOUTPUT LEVELつまみと同じはたらきをします。

ディスプレイ

DISC インジケータ

ディスクトレイ内にディスクが正しくセットされているときは点灯し、ディスクが無いまたは裏返しなど正しくセットされていないときは点滅した後消灯します。

セーブインジケータ

プログラム演奏の保存 (SAVE) 時、点滅し、既にプログラムを保存したディスクがセットされると点灯します。

TRACK (曲番) インジケータ

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。ディスクをセットしてOPEN/CLOSEでディスクトレイを閉じると、約3秒間、そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

スペースインジケータ

曲間に4秒間のスペースを入れるとき点灯します。

プログラムインジケータ

プログラムの設定時や演奏中に点灯します。

ファイルインジケータ

ファイルプレイモードのとき点灯します。

プログラム、インデックスインジケータ

プログラムナンバー、インデックスナンバーを表示します。

TOTAL/SINGLE/REMAIN インジケータ

TIMEを押すごとに時間表示の内容が変わります。

タイムインジケータ

演奏時間を表示します。

リピートインジケータ

リピート演奏の種類が SINGLE (1曲) リピート、FULL (全曲) リピート、A-B (2点間) リピートかを表示します。

プレイインジケータ

演奏時に点灯します。サーチ中やポーズ時に点滅します。

ランダムプレイインジケータ

ランダム演奏中に点灯します。

ミュージックカレンダー

ディスクに収録されている曲番などが点灯表示します。収録曲が20曲を超すときはOVERが点灯します。

デリートインジケータ

デリートプログラムの設定時や演奏中に点灯します。

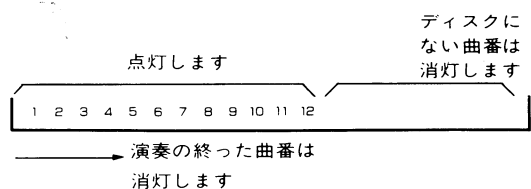
テープインジケータ

テープ録音するときにこのインジケータを点灯させます。

ミュージックカレンダーについて

本機は演奏状況やプログラムの設定状況を一目で把握することのできる、便利なミュージックカレンダーを装備しています。ディスクをセットしますと、ディスクに収録されている曲番が点灯し、演奏を終えた曲番は順次消灯します。またプログラムの選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯しますので、設定ミス事前に防ぐことができます。

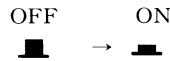
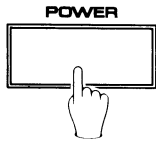
例) 12曲収録のディスクをセットした場合



基本的な演奏

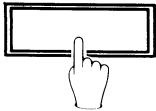
リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では18曲収録のディスクを例に説明しております。

1 **POWER** を押し電源を入れます。



2 **OPEN/CLOSE** を押します。
ディスクトレイが開きます。

△ OPEN/CLOSE



3 ディスクをセットします。
(3ページ ディスクのセット参照)

4 **OPEN/CLOSE** を押します。
ディスクトレイが閉まります。

ディスクのセットが完了。

※[PLAY]、[RANDOM]、10キー(+10, 1~9)またはディスクトレイを軽く手で押してもトレイが閉じて、自動時に演奏がスタート。
その場合は総曲数、総演奏時間を表示しません。

5 演奏のメニューを選びます。

1 曲目から聞きたいときは
(プレイ)

A

好きな曲から聞きたいときは
(選曲プレイ)

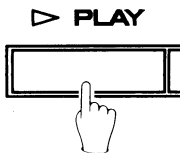
B

曲を順不同に聞きたいときは
(ランダムプレイ)

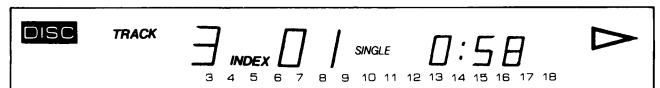
C

A 1 曲目から聞きたいときは(プレイ)

1 **PLAY** を押します。
演奏がスタート



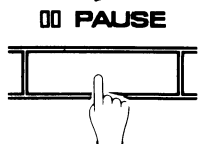
例 3 曲目の演奏開始後58秒経過



全ての曲の演奏が終わると自動的にストップ状態(1 曲目の頭で待機)になります。

演奏の一時停止

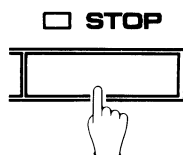
PAUSE を押します。
押したところで一時停止します。
ディスプレイの▶ が点滅



再び演奏をする時は **PAUSE**
または **PLAY** を押します。

演奏の停止

STOP を押します。



早送り・早戻し

※ 押し続けると高速で早送り・早戻しします。

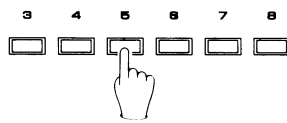
	◀◀ SEARCH ▶▶	
演奏時	音出し早戻し	音出し早送り
ポーズ時	音無し早戻し	音無し早送り

B**好きな曲から聞きたいときは (ダイレクト選曲、スキップ選曲)****ダイレクト選曲**

10キー(+10, 1~0)を押して曲番を選びます。

例) 曲番5曲目を選ぶとき

5 を押します。



5曲目から自動的に演奏がスタート。

- ※演奏中に、他の曲番を押すと、その曲を演奏します。
- ※トレイが開いているときに、ディスクに収録された曲数より大きな曲番を指定すると、最終曲番を演奏します。
- ※ポーズ中に選曲した場合は選曲された曲の頭でポーズ状態になります。

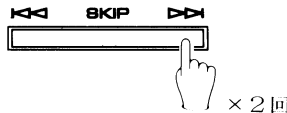
曲番5曲目を選んだときのディスプレイ

**スキップ選曲**

SKIP (◀▶) を押して、聞きたい曲を選びます。

例) 曲番3曲目を演奏するとき。

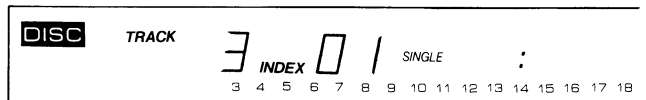
1 **SKIP** (▶▶) を2回押します。



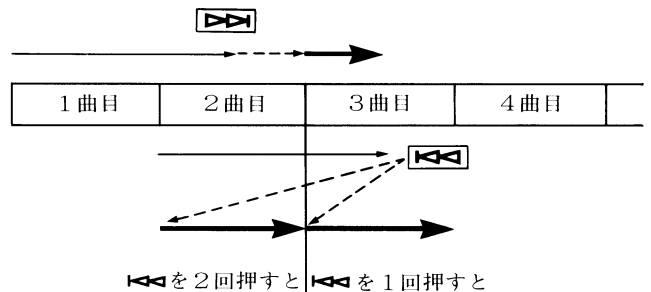
2 **PLAY** を押します。
3曲目から演奏がスタート。

- ※ ▶▶ …押すごとに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続して進み、最終曲の頭までスキップします。
- ※ ◀▶ …1回押すとその曲の頭に戻ります。1秒以内にもう一度押すと前の曲の頭に戻ります。押し続けると連続して戻り曲番1の頭までスキップします。
- 演奏中にスキップ選曲しますと、選曲された曲の演奏が自動的にスタートします。ポーズ状態またはストップ状態でスキップ選曲したときは [PLAY] を押して演奏を始めます。

曲番3曲目を選んだときのディスプレイ

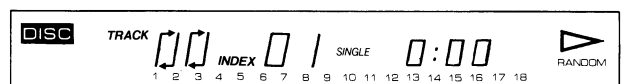


▶▶ を押すごとに次の曲の頭に移ります。

**C****曲を順不同に聞きたいときは (ランダムプレイ)**

RANDOM を押します。

ディスプレイの曲番インジケータが回転したあと本機がディスクの曲を順不同に演奏を始めます。

**ランダム演奏の解除**

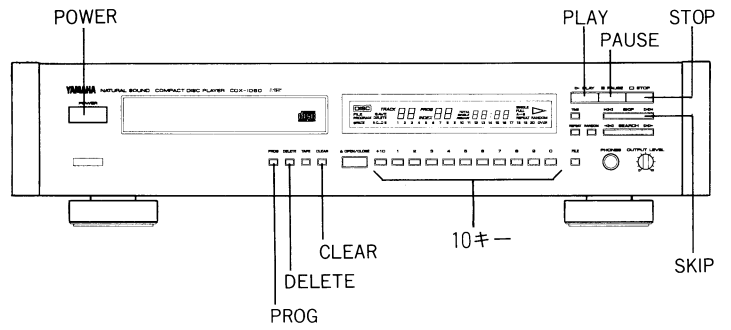
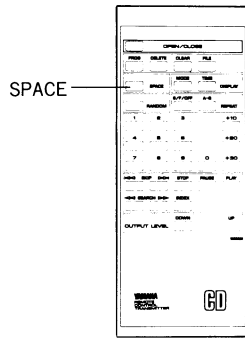
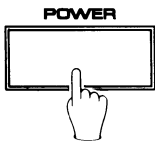
● **RANDOM** または、**STOP** を押します。

- ※ランダム演奏中はインデックス演奏はできません。
- ※ランダム演奏中に [SKIP ▶▶] を押しますと、演奏の終わっていない別の曲を選曲し、演奏します。 また [SKIP ◀▶] を押しますと、演奏中の曲の頭に戻り再びその曲を演奏します。

いろいろな演奏-1

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では18曲収録のディスクを例に説明しております。

- 1 **POWER** を押し電源を入れ、ディスクをセットします。



- 2 演奏のメニューを選びます。

曲を飛ばして聞きたいときは
(デリートプログラム)



好きな曲を好きな順に聞きたいときは
(マニュアルプログラム)



D 曲を飛ばして聞きたいときは (デリートプログラム)

- 1 **STOP** を押します。

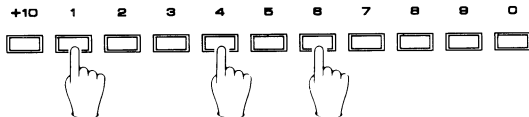
- 2 **DELETE** を押します。

※PROG-01表示しない場合は
[TIME]を押して表示させます。



- 3 演奏しない曲を10キー(+10, 1~0)で指定します。
例) この場合は1、4、6です。

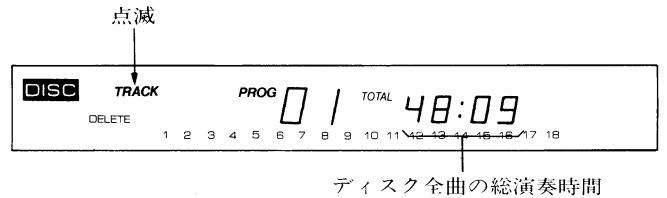
10キーで**1**、**4**、**6**を押します。



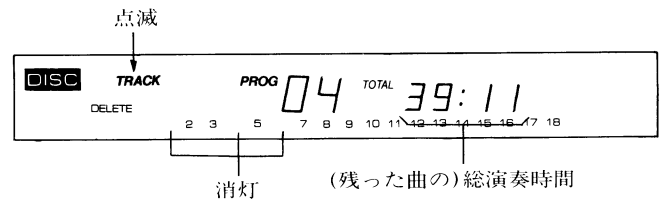
押すたびに、演奏しない曲を除いた総演奏時間を表示して、次の曲番の入力待ちに変わります。

- 4 **PLAY** を押します。

この場合、曲番2から演奏がスタートします。

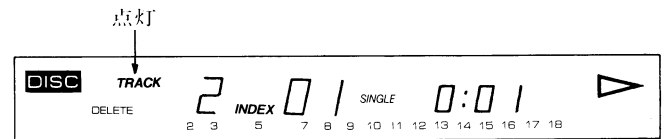


ディスク全曲の総演奏時間



消灯

(残った曲の)総演奏時間



10キー(数字キー)の操作について

+10, +20, +30の使いかた

曲番10以上の曲を選曲する場合には、+10を押しますと、1_と表示が出来ます。その後に1の位のキーを入力します。

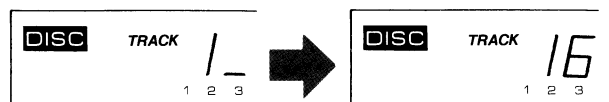
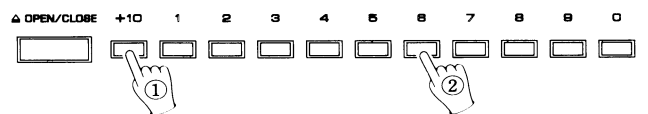
同様に、リモコンで+20を押すと2_、+30を押すと3_と表示が出来ます。

例) 曲番16を選曲する場合

- 1 **+10** を押します。
- 2 **6** を押します。

※曲番のセットの時は“+10”、“+20”、“+30”、を押すごとに1_、2_、3_と変わりますが、セットされたディスクに収録されていない2桁は表示せず0_に戻ります。

※+10, +20, +30を押すと次に1の位が入力されるまで、約4秒間の入力待ちとなります。1の位が入力されないまま約4秒間経過しますと、自動的に1の位を“0”として演奏を開始します。



E 好きな曲を好きな順に聞きたいときは (マニュアルプログラム)

1 **STOP** を押します。

2 **PROG** を押します。

※PROG-01表示しない場合は(TIME)を押して表示させます。

3 演奏したい曲を 10キー (+10, 1~0) で選びます。

例) この場合は5、3、7の順に選曲

5-1 10キーで **5** を押します。

5-2 10キーで **3** を押します。

5-3 10キーで **7** を押します。

入力した曲番と総演奏時間を表示したあと、次のプログラムの入力待ちになります。

●[TIME]を押すと、プログラムの総演奏時間を表示させることができます。

●同様の方法で、最大25曲までプログラムすることができます。

●25曲までセットしますと、自動的にPROG-01に戻ります。

4 **PLAY** を押します。

この場合、曲番5からスタート。

●演奏を終えた曲のミュージックカレンダーは消灯します。

●演奏が終了しますと、自動的にPROG-01に戻ります。

※インデックスのプログラム演奏はできません。

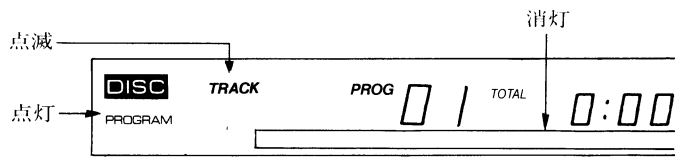
※プログラムの総演奏時間が99分59秒を超えた場合、TOTALとTOTAL REMAINの時間表示はしません。

●**SKIP** (**⏮**、**⏭**) を押すと

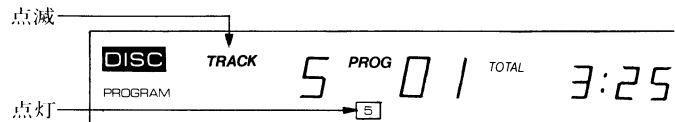
※ **⏭** …押すごとに次のプログラム曲の頭に移ります。

⏮ …押すごとに前のプログラム曲の頭に移ります。

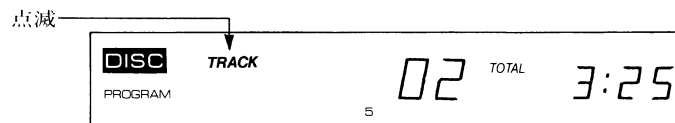
●プログラム演奏中に10キーで他の曲番を選ぶとプログラムは選んだ曲に変更され、その曲が終了すると次のプログラム演奏となります。



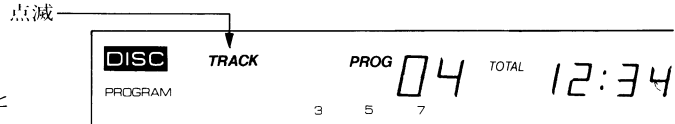
PROG-01 (プログラム) 曲番の入力待ち。



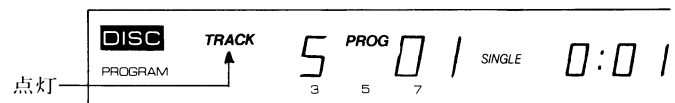
選曲された曲のミュージックカレンダーが点灯します。



選曲された曲番を表示し、“P-”インジケータは、次のプログラム番号に変わります。



プログラムNo.表示(P-)が--:--から0:00の時間表示に変わり演奏がスタートします。



いろいろな演奏-1

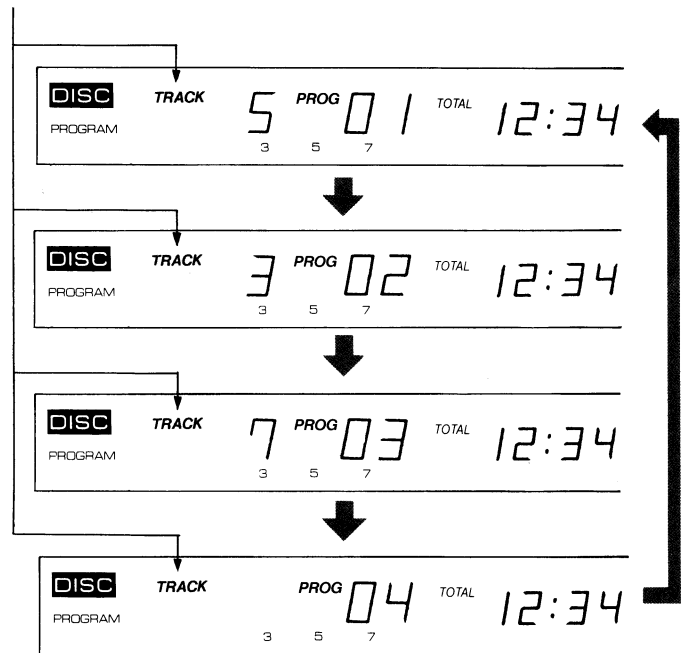
プログラムのチェック

- 1 **STOP** を押します。
- 2 **PROG** を押します。
※デリートプログラムの場合は(DELETE)を押します。
プログラムの1 (PROG-01) と曲番が表示されます。
- 3 **SKIP** (▶▶) を押します。PROG-02 から順にプログラムされた曲順を表示。SKIP (◀◀) を押すと、プログラムの曲順を逆に表示。

プログラムの変更・追加

- 1 **STOP** を押します。
- 2 **PROG** を押します。(マニュアルプログラム)
※デリートプログラムの場合(DELETE)を押します。
プログラムの1 (PROG-01) と曲番が表示されます。
- 3 **SKIP** (◀◀ または ▶▶) を押します。
変更したいプログラム番号をディスプレイに表示させます。
追加の場合は、最終のプログラム番号を表示させます。
- 4 10キーで新しい曲を入力します。
変更の場合は、前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。
追加の場合は最後のプログラムに新しい曲番がセットされます。
※テーププログラムを変更・追加するときは、テープ片面の録音時間をオーバーしても変更追加は出来ませんが、オーバーした部分は録音されません。プログラムの総演奏時間には充分注意をしてください。

点減



プログラムの解除

- 1 **STOP** を押します。
- 2 **CLEAR** を押します。

CLEAR



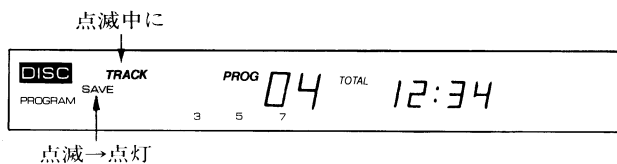
ディスプレイの“PROGRAM”や“DELETE”
または“A ∞ B”が消灯し、プログラムが
解除。

プログラムの保存 (SAVE) について

設定したプログラムを保存することができ、ディスクをセットするたびにプログラムを設定する手間がはぶけて便利です。

プログラムの保存のしかた

- 1 プログラムの設定します。(マニュアルまたはデリート)
- 2 **FILE** を押します。
プログラムの保存が完了



※プログラム保存は、ディスプレイのTRACKが点滅中のみ可能です。一旦プログラム演奏を開始したときは[STOP]を押したのち、再び[PROG]を押してTRACKを点滅させてください。

プログラムが保存されたディスクの演奏

- 1 既にプログラムが保存されたディスクをセットします。
※ディスクプレイにSAVEが点灯。SAVEが点灯しない時、そのディスクはプログラムが保存されていません。

- 2 **FILE** を押します。



“FILE”が点灯し、ファイルプレイモードになります。

- 3 **PLAY** を押します。
プログラム演奏開始。

- ※[FILE]を押さずに[PLAY]を押すと通常演奏がスタートします。
- ※保存できるプログラムはディスクごとに1種類です。
- ※1ディスク10曲プログラムで100枚程度の保存が可能です。
- ※1時間通電後、電源OFFにしても約1ヶ月間程度の保存が可能です。
- ※一度プログラム保存したディスクに後から別のプログラムを保存し直すと前のプログラムは消え新しいプログラムが保存されます。

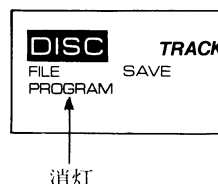
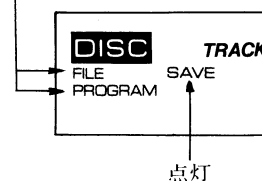
保存されたプログラムの消去

ディスク1枚分だけプログラムを消すとき

- 1 プログラム消去したいディスクをセットします。
- 2 **STOP** を押します。
- 3 **CLEAR** を押します。
- 4 **PROG** を押します。
- 5 **FILE** を押します。

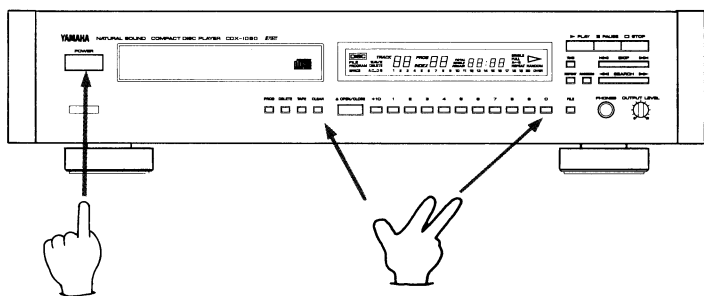
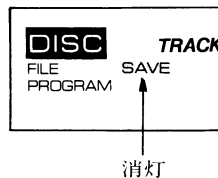
このディスクのセーブされていたプログラムが消去されました。

既にFILEが点灯していた場合は、自動的に点灯します。



本機に保存されている全てのプログラムを消すとき

本体の[CLEAR]と10キーの[0]を同時に押しながら、[POWER]を押して電源をいれます。



ファイル クリア
“FILE” → “CLr” の順に点灯

これで本機に保存されている全てのプログラムが消去されました。

いろいろな演奏-2

リモコンで操作するときは、対応するキーをお使いください。
本取扱説明書では18曲収録のディスクを例に説明しております。

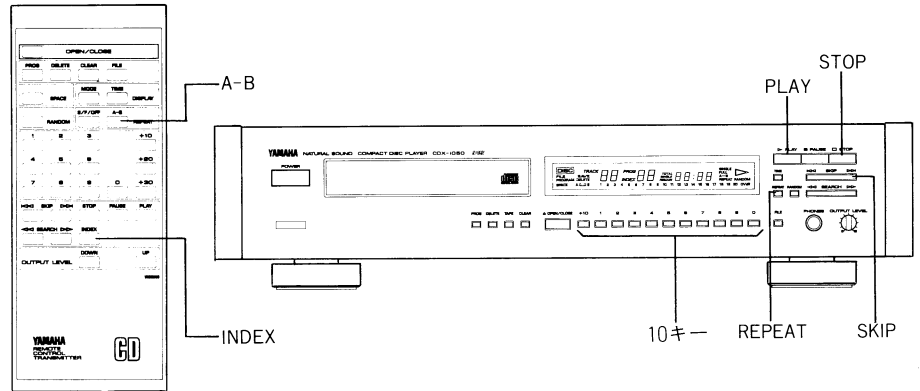
1 **POWER** を押して電源を入れ、
ディスクをセットします。

2 演奏のメニューを選びます。

インデックスから聞きたいときは **F**
(インデックス演奏)

繰り返して聞きたいときは **G**
(シングル、フルリピート演奏)

指定した時間に聞きたいときは **H**
(タイマー演奏)

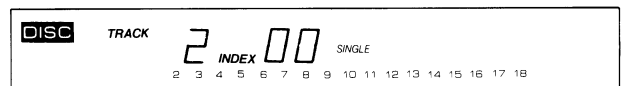
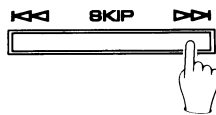


F インデックスから聞きたいときは (インデックス演奏)

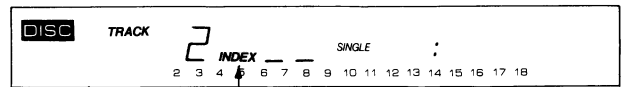
→例 曲番2のインデックス3から演奏を始めるときには

1 曲目			2 曲目			3 曲目	
インデックス1	インデックス2	インデックス3	インデックス1	インデックス2	インデックス3	インデックス1	インデックス

1 演奏したい曲を選びます。
この場合は、[SKIP] (▶▶) を1回押します。
(10 キーの **2** でも選べます。)

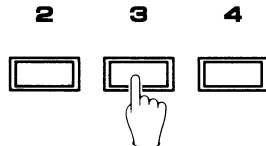


2 リモコンの **INDEX** を押します。

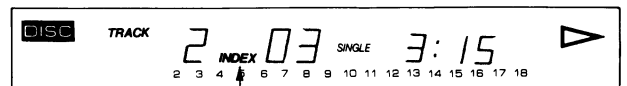


点滅

3 10 キーで **3** を押します。



曲番2のインデックス3から
演奏がスタート



点灯

※インデックス演奏は、指定した箇所少し前から演奏することがあります

※インデックスの記録されていないディスクの場合は、インデックス1を表示し、指定された曲の頭から演奏を開始します。

※ディスクに記録されているインデックスより大きな数を指定した場合は、指定された曲の最後のインデックスから演奏を開始します。

■インデックスの指定モードの解除

“INDEX” の点滅中に、再度 [INDEX] か [PLAY] または [STOP] を押します。

“INDEX 0 / ” 点灯。

インデックスとは

インデックス (クラシック曲の第何楽章など) が設定されているディスクの場合は、聞きたいインデックスのところから演奏をスタートさせることができます。

※インデックスが記録されているディスクには **INDEX** マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。

G

繰り返して聞きたいときは (シングル、フル A-B リピート演奏)

- シングルリピート：指定した1曲を繰り返し演奏します。
- フルリピート：ディスクまたはプログラムの全曲を繰り返し演奏します。
- A-B リピート：指定した2点間を繰り返し演奏します。

※プログラム演奏やランダム演奏もリピート演奏することができます。ただし、プログラム演奏中の A-B リピートはできません。

■シングルリピート、フルリピート

[REPEAT] を押します。

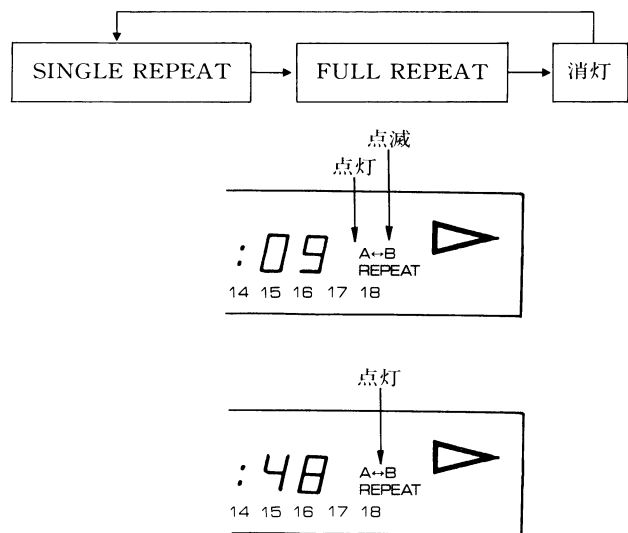
[REPEAT] を押すごとにリピートモードが変わります。

■A-B リピート

- 繰り返したい箇所ではリモコンの [A-B] を押します。
A点を指定。
- 繰り返しを終えたい箇所でもう一度リモコンの [A-B] を押します。
B点が指定され、A-B間を繰り返し演奏。

■リピート演奏の解除

[REPEAT] (またはリモコンの REPEAT S/F/OFF) を押し、SINGLE、FULL または A-B REPEAT インジケータを消灯させます。
シングルリピートはディスプレイを開閉しても解除でき、また、A-B リピートはもう一度 [A-B] を押しても解除できます。



H

指定した時間に聞きたいときは (タイマー演奏)

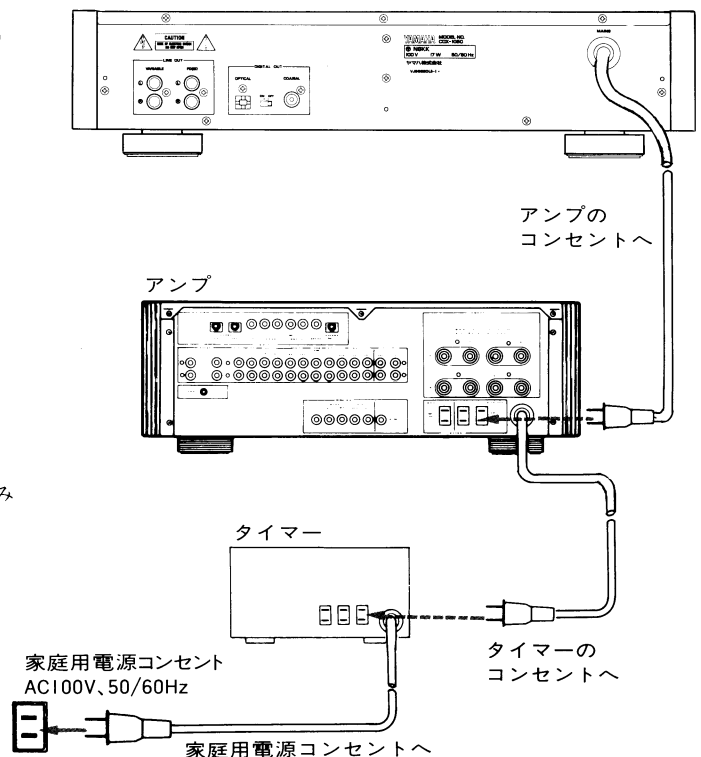
市販のオーディオタイマーと組み合わせると、設定した時間にCDの演奏を開始することができます。

接続 電源コードの接続を右の図の様にします。

操作

- 本機とアンプの電源を ON にします。
- ディスクをセットします。
- 演奏を開始して、アンプの音量を調整します。
※ランダム演奏または、リピート演奏もできます。
- [STOP] を押し、演奏を停止させます。
ランダム演奏のときは、[STOP] を押さずに5の操作にすすみます。
- タイマーの設定をします。
演奏開始時間、終了時間を設定してタイマーをONにします。
※タイマーの時間設定のしかたはタイマーの取扱説明書をご参照ください。

以上でタイマーに設定された時間になれば、タイマー演奏を開始します。

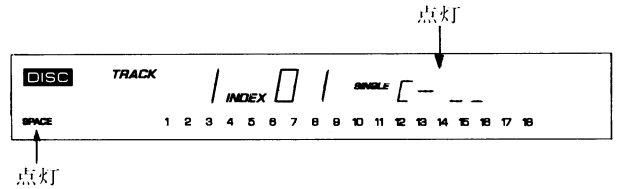


テープ録音 (テーププログラム)

リモコンで操作するときは、対応するキーでお使いください。
本取扱説明書では18曲収録のディスクを例に説明しております。

テープに録音する前に、録音ができるように各機器のセットをします。

- 1 ディスクをセットします。
- 2 **[STOP]** を押します。
- 3 **[SPACE]** を押します。
(15ページ、オートスペース参照)
- 4 **[TAPE]** を押します。
- 5 10キーでテープサイズ (テープの長さ) を入力します。
例) C-60のカセットテープの場合は6、0を押します。



※入力した半分の時間が片面の録音時間です。99分まで設定できます。

※テープサイズを変更するときは続けて入力します。

- 6 テープ録音のメニューを選びます。

曲順に関係なく自動選曲して録音したい時は **[I]**
(テープランダムプログラム)

曲順を変えずに自動選曲録音したい時は **[J]**
(テープオートプログラム)

自分で選曲して録音したい時は **[K]**
(テープマニュアルプログラム)

[I] 曲順に関係なく自動選曲して録音したい時は (テープランダムプログラム)

- 1 **[RANDOM]** を押します。



自動的に本機がディスクの曲を順不同にして、テープの片面時間に納まる曲の組合せで、A面、B面にプログラム (最大24曲まで)※を行います。

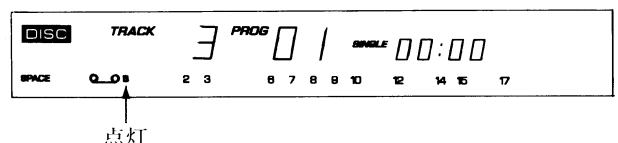
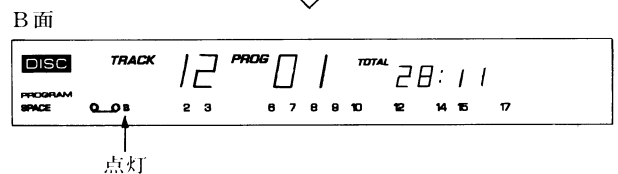
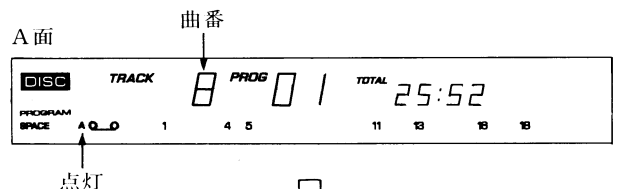
- 2 デッキを操作してテープをA面に録音開始すると同時に、本機の **[PLAY]** を押します。
テーププログラム演奏がスタート。



テープA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲目表示にかわり、ポーズ状態になります。

- 3 デッキを操作してテープB面に録音ができるようにし、本機の **[PAUSE]** か **[PLAY]** を押します。
テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタート。

※テープランダムプログラムでは使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕が少ないときは、ランダムの組合せにより収録できない曲があることがあります。そのときは、[TAPE]と[RANDOM]を何度か押して、全曲が収録される組合せにしてから録音を開始してください。また、テープサイズを変更するときは、[TAPE]を押してください。



J

曲順を変えずに自動選曲録音したい時は (テープオートプログラム)

- 1 **DELETE** を押します。



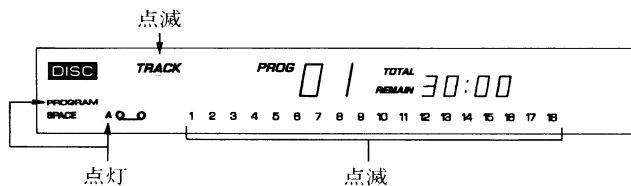
本機がディスクの曲順を変えずにテープサイズに合わせてA面、B面にプログラム(最大24曲まで)します。

- 2 テープランダムプログラムの2、3と同じ操作で録音をおこないます。

K

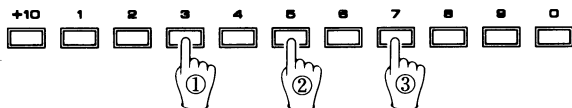
自分で選曲して録音したい時は (テープマニュアルプログラム)

- 1 **PROG** を押します。

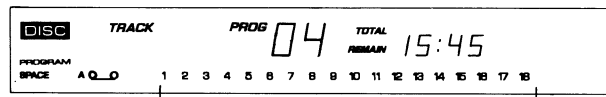


- 2 テープA面に録音したい曲を10キーで選びます。

例) この場合は、3、5、7です。



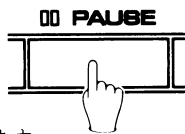
曲番を押すごとにテープ片面の残り時間が表示されます。



入力済みの曲番は点灯、まだ入力されていない曲番で、テープ残り時間に対して入力可能な曲番が点滅。

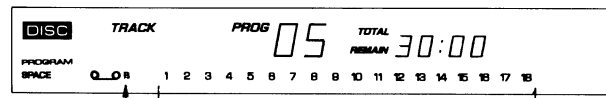
- 3 **PAUSE** を押します。

テープB面に切り換ります。



プログラムNO (PROG) は1つ繰り上がります。

- 4 テープB面に録音したい曲を10キーで選びます。

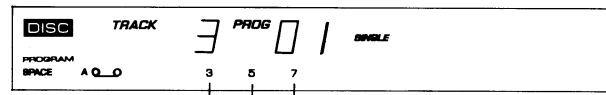


点灯 入力済みの曲番は点灯、まだ入力されていない曲番が点滅。

- 5 **PROG** を押します。

テープB面への選曲が終了。

- 6 テープランダムプログラムの2、3と同じ操作で録音をおこないます。



点灯

※テープ片面の残り時間を超える曲番をインプットすると“Err”(エラー)表示をして受け付けません。残り時間内に納まる曲番を選んで再度インプットします。

※最大24曲までプログラムすることができます。

テーププログラムの解除

- 1 **STOP** を押します。

- 2 **CLEAR** を押します。

“PROGRAM” “A B” ←消灯

テーププログラムのチェック・変更・追加

8ページのプログラムのチェック・変更・追加参照。

オートスペースについて

曲間が充分でないディスクの場合、そのままテープに録音しても、テープ演奏時にうまく選曲ができないことがあります。録音時に、[SPACE]を押して各曲間に約4秒間のスペースを挿入するとデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

曲間には約4秒間のスペースが挿入され、TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIMEはスペース時間を加えた時間表示に変わります。

※ディスクにもともと約4秒間の曲間がある場合や、テープの選曲再生をしない時は、オートスペースを入れる必要はありません。

ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。

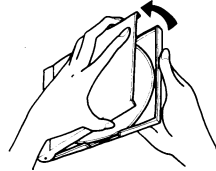


マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

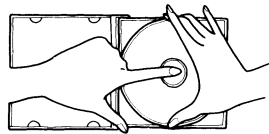
- ・規格外のディスクはご使用にならないでください。
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

■ケースからの取だしかた

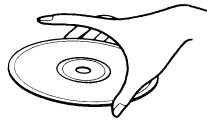
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押え、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。

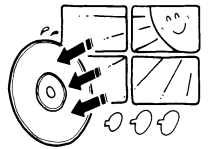
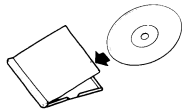
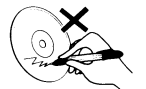


3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



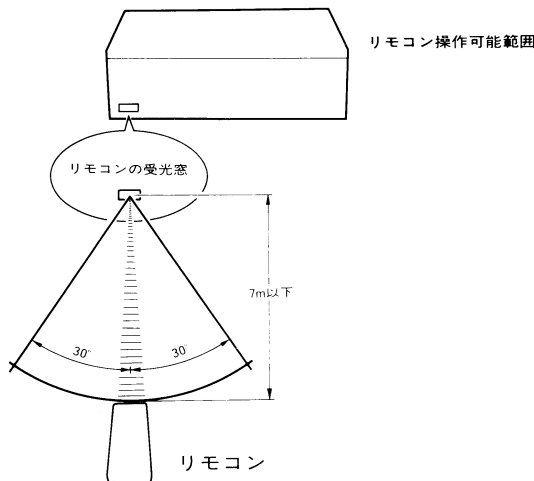
■取り扱いの注意

- ・信号記録面に指紋やほりが付きましたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほりやよごれは、音には影響ありません。
- ・レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。
- ・曲げたりしないでください。
- ・信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- ・演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水で拭くことも避けて下さい。
- ・直接日光が当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光窓の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作を起こすことがあります。リモコンによって誤動作をする機器があるときは、その機器の受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。ていねいに扱ってください

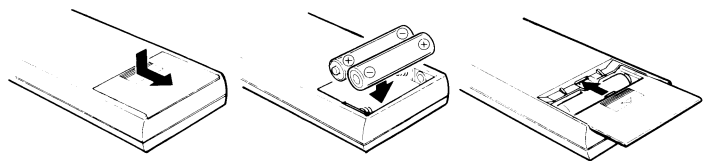
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

●電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単4型（SUM-4）乾電池を2個、プラス（+）とマイナス（-）の向きを、リモコンのケースの表示どりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしましたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

■乾電池についてのご注意

- ・単4乾電池をご使用ください。
- ・新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・電池のプラス（+）とマイナス（-）を金属片で直接つなぐこと（ショート）はしないでください。
- ・長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	DIGITAL OUT 端子を使って接続している	DIGITAL OUT スイッチをONにしてください
	LINE OUT VARIABLE 端子を使って接続している	OUTPUT LEVEL コントロールツマミを時計方向に廻して音量を調節してください。
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
ヘッドホンから音がでない	OUTPUT LEVEL ツマミが絞られている	ツマミを時計方向に廻して音量を調整してください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	リモコンユニットの送信窓が本体の受光部に向いていない	送信窓を本体の受光部に向けてキーを押してください
	本機を設置している場所の照明が明るすぎる 受光部に強い光が当たっている	照明を、暗くするか、遮光してください。

参考仕様

■形式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム	
■オーディオ特性	
周波数特性	2 Hz~20 KHz +0.3 dB
ディエンファシス偏差	±0.5 dB
高調波歪率+雑音 (1 KHz)	0.0018%以下
S/N 比	118dB (EIAJ)以上
ダイナミックレンジ	100 dB
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション (1 KHz)	100 dB
出力電圧 (LINE OUT MAX)	2.0V
出力インピーダンス	630 Ω
ヘッドホン出力電圧 (150 Ω、-20dB、VR MAX)	640mV
■方式	
光ピックアップ	3 ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC 2 重エラー訂正方式
D/A 変換	2 次ΔΣ変調方式
フィルター	デジタルフィルター

■機能	
頭出し	SKIP (◀▶、▶▶) による順次頭出し
インデックスサーチ	ストップ時 INDEX、10 キーによる指定
音出しサーチ (演奏時)	SEARCH (◀▶、▶▶) によるサーチ
ポーズ	PAUSE を 1 回押す
ストップ	STOP を押す
総演奏時間表示	TIME を押す
演奏残り時間表示	TIME を押す
プログラム機能	マニアルプログラム (25 曲) プログラム総演奏時間表示機能 プログラムセーブ (保存) 可能
テープエディット機能	テープランダムプログラム テープオートプログラム テープマニュアルプログラム
リピート	A-B 間、1 曲、全曲またはプログラム全部のリピート
タイマープレイ	電源 ON で演奏開始 (ランダム演奏、リピート演奏可能)
■総合	
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	17W
外形寸法 (W×H×D)	473×111.5×346 mm
重量	10.5 kg
付属品	IP出力コード×2 リモコンユニット 単 4 乾電池 (SUM-4)×2

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テーブデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 513-5036

仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル
TEL (03) 255-2241

首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL (025) 243-4321

松本 〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F
TEL (0263) 32-5930

浜松 〒435 浜松市上西町911 番地 ヤマハ宮竹工場内
TEL (0534) 65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230

京都 〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル
TEL (075) 361-6470

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL (06) 877-5262

神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内
TEL (078) 321-1195

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内
TEL (0878) 22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL (082) 874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
北海道営業所 TEL (011) 512-6115

仙台 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F
東北営業所 TEL (022) 222-6080

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
首都圏営業所 TEL (03) 255-5691
神田営業所 TEL (03) 255-6767

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル
関東営業所 TEL (025) 241-2084

神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内
神奈川営業所 TEL (044) 434-4871

浜松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内
浜松営業所 TEL (0534) 71-1207

名古屋 〒464 名古屋千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
中部営業所 TEL (052) 782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内
関西営業所 TEL (06) 647-6411

広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内
中国営業所 TEL (082) 244-3745

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
九州営業所 TEL (092) 472-2131

本社 〒430 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部 お客様ご相談センター
TEL (0534) 60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (0534) 60-3451

品質保証室 TEL (0534) 60-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA